

### 栗井地区村創りの会

■絆とやすらぎの里栗井村

第3回 収穫祭（十一月 四日）

大盛況だった今年の収穫祭。課題は販売物が少なすぎたことでの一時間繰り上げて終了したと。

天気にも恵まれ、みまちゃんネルも協力してくれ、延べ約五〇〇人が、開会までに集まってくれた事による効果でしょう。「栗井はイベント上手。」の面目が保てました。



収穫祭を盛り上げてくださった栗井の皆様、本当にありがとうございました。これからも力を合わせて元気に頑張りましょう。



### 栗井地区自主防災連絡協議会

【十月十九日】

■「普通救命講習」を開催しました。

美作消防署から、岡本署員、井口署員、岸本署員を招いて、「普通救命講習」を行いました。岡本署員の軽妙な進行で、3時間の講習も時間を感ぜさせない有意義な講習となりました。心肺蘇生法の解説、AED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生法の実技、AEDの取り扱いについて、異物の除去及び止血法について学びました。

AEDは、現在「能登香の湯」のみとなりました。今後「能登香の里小房」ともつ「力所」の設置を要望していきます。

栗井地区の自主防災組織には、元署員が2名、元分団長が数名と経験豊かな人材が揃っています。会長を中心にさらなる充実が望めます。

### 栗井地区 行政懇談会

【十月二十六日】



秋原市長になって恒例となった行政懇談が行われました。冒頭市長から、防災について避難場所の見直しや、災害時のマニュアル作成、福祉避難について話がありました。栗井地区ではすでに進みつつある話です。福祉による地方創生で、都市公園による交付税参入額と介護保険料引き下げ、出産祝い金、タクシー利用補助の説明。最後に「美作市立パレンタイン」の学園（仮称）の現状説明がありました。行政懇談会の趣旨は、「生活上の課題」を探ることが中心ですが、今回は、特別支援学校や、国際交流と言った市行政に関することと多くの時間が割かれました。また、一部の人が知らないことです。行政の丁寧な説明により、市民の理解と協力を得ることが望めます。合わせて、次回からは趣旨に沿った懇談も望めます。

地区からの要望では、小学校、中学校の保護者からスクールバスや、停留所の安全対策についての要望が出されました。また、豪雨災害に対する備えとして、河川の監視カメラの精度に対する要望も出されました。

### 食品衛生責任者スキルアップ研修会

【十月二十三日】



岡山県から委嘱された勝英食品衛生協会が、飲食店営業を対象にノースヴェレッジで開催しました。①三年後より実施される食品衛生法の改正について、②HACCPについて、③衛生管理計画の実技等を行いました。能登香の里小房、アワイスタディカフェなどが対象でした。

### 栗井地区社会福祉協議会

10月22日（月）に、栗井福祉ボランティアの会会員が、75歳以上の独居の方と、80歳以上の高齢者世帯に、ジュースを持って「見守り訪問」を行いました。

今回は、救急キットの更新はもとより、困り事を聞いて回りました。高齢者世帯から独居に変わる世帯が増えてきています。ケアマネジャーへの取り次ぎ、タクシー補助券はこのタクシーで使うのが良いか、等困り事も増えています。高齢者のニーズは多様で、広範囲に及んでいます。社協の役割は重大です。



#### ご案内

下記により認知症についての研修会を開催します。せっかくの機会です。多くの方のご参加をお願いします。

日時：平成30年  
11月19日（月）  
午後1時30分より

場所：旧栗井小学校2階

講師：廣畑様  
～栗井地区社会福祉協議会～

### 美作市総合戦略推進会議

【十月二十六日】



美作市の大幅な人口増を実現するための、「美作市まち、ひと、しごと創生総合戦略」（平成二十七年）から平成三十一年度までの5年間の改定作業を行いました。この中の、IV自然豊かな地域環境を生かした魅力ある地域づくり、2「小さな拠点」づくりの推進、☆集落生活圏の維持・課題解決には、梶並地区、栗井地区、上山地区がたとえとして記載されています。（以前何度か紹介済み）今も取り組みを継続しています。また、「美作市大規模太陽光発電事業に係る地域社会に対する影響評価条例」の制定にも承認しました。

「編集後記」平成二十四年度からの様々な取り組みは、合意を得てやめるか、新たな取り組みを決議するまでは全て継続中です。人が変わると取り組みの理解が変わります。今、栗井地区の抱える課題になりつつあります。過去に決めたことが、忘れられていくのです。地域づくりは長期に及びます。どうすれば引き継いでいけるのか、当時の熱い議論は、どのように生かされていくのか。地区民の合意を得た結論は尊重されていかなければならない。

